

電気工事に関するお願い

申込みと電気図面の提出

電気設備の利用および工事については、1ヶ月前の利用打合せまでに電気利用のないようについて管理事務室までご相談ください。また利用開始 2週間前までに、利用計画書の「電気使用申込書」と図面を提出してください。

電気図面にはピットごとの電気容量、分電盤位置がわかるように記載してください。

分電盤と漏電ブレーカーの使用

ピットから引き出す配線工事については分電盤を使用し、主開閉器に漏電ブレーカーを使用してください。

法令の遵守

工事にあたっては、本施設が定める保安規定のほか、電気設備技術基準・内線規程の関係法令に基づき施工するとともにグランメッセ電気設備担当者の指示に従ってください。

出展者の管理

主催者が行う電気工事のほか、出展者が行う小間装飾・展示実演に伴う電気工事についても作業内容を把握し指揮監督してください。

容量の把握

本施設の既設変圧器容量を超える負荷が生じる場合は、事前の打ち合わせの際に電気設備担当までご相談ください。必要な措置は主催者側で講じていただきます。

施工後の安全確認

工事が完了したときは、安全確認のため通電に先立ち、あらかじめ電気設備担当がお渡しするチェック項目（絶縁抵抗の測定、アースチェック、他）の自主検査を実施し、グランメッセ電気設備担当に連絡してください。グランメッセ電気設備担当が安全確認を行った後に通電いたします。

※ 施工に問題がある場合には通電を行いません。

配線の保護とつまづき防止措置

配線を床面等損傷を受けるおそれのある場所に施工する場合は、金属管等で保護するとともに、つまづき転倒防止のためのスロープを設けるなど適切な防護措置を講じてください。

壁面コンセントの使用禁止

壁面のコンセントは、設営・撤去時の作業用電源としてのみ使用可能です。原則として催事開催中の電源としては利用できません。全て、電気ピットから取り出した電源で利用してください。出展者にも徹底してください。

施工上の注意事項

- 電線類については必ずケーブル(CV ケーブル・SV ケーブル・キャブタイヤケーブル等)を使用してください。
- 電線相互の接続は、圧着スリーブを使用してください。
- スイッチ・コンセントは露出型を使用してください。
- 低圧配線の太さは、それぞれブレーカーや負荷に適合させ(最低 1.6mm 以上)、幹線より細い電線を分岐する場合はブレーカーを使用してください。
- 展示小間内の配線も必ずケーブル(VVF ケーブル・キャブタイヤケーブル等)を使用してください。
- 架空配線は、メッセンジャーワイヤーに沿って配線してください。電線に張力がかかり破損の恐れがある場合は、引留を使用してください。
- 白熱電灯・抵抗器その他、熱を発生するおそれのある機器は、可燃物と接触したり、加熱したりしないように設置してください。

撤去時の注意事項

電気工事に伴う配線屑等は必ず清掃・撤去してください。特にピット内・端子盤内には絶対に残さないでください。作業完了後は電気設備担当に連絡し確認を受けてください。

電気ピットの構成

展示ホール A には 4 本、展示ホール BCD には各 3 本の電気ピットがあり、下記の構成になっています。詳しい位置は別図をご覧ください。各ピットとも構成は同じです。

